

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 4月 26日

事業所名 こたふくの部屋

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	利用者様の特性に合わせスペースを区切る、分けるなどしている。	
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	基本的に基準以上の人員配置としている。利用者様の数に合わせてシフトの変更を行っている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	1階が高齢者施設併設でもある為、施設全体をバリアフリー化し、エレベーターと必要箇所に手すりの設置をしている。障害特性に合わせてスペースを区切るなどしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	毎日清掃・消毒・換気をしている。活動に合わせて空調管理やスペースを区切るなどし、不快感の無い、活動しやすい空間作りを意識している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%	毎月の全体ミーティングの中に業務ミーティングの要素を設け業務改善に努めている。事業所目標に向けた取り組みを行うために職員一同が参画している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	貴重なご意見を伺い、全体ミーティング・業務ミーティング内で話し合いをして改善に努めている。不足している点についても把握しているので継続していきたい。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	毎年自社HP内に掲載し、公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	コロナで限られてはいるが令和4年度は計3回の研修と2回の他事業所見学を実施した。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	アセスメントで得たニーズをもとに作成し、職員と会議の上で作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0%	100%		様々な障害程度の方が利用されており、一つのアセスメントツールではなかなか評価が難しい。事業所独自のアセスメントツールを作成する必要があると考える。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	67%	33%		スタッフ同士の定期的なミーティングの中で立案しているが担当者が固定しがちなので全体で広く立案したい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	67%	33%	季節感を感じられる工作・行事などを取り入れ固定化しないように工夫している。	令和4年4月より、週間のプログラム(運動とアートを交互に)を実施していくことになっている。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	療育の時間や利用者様の状況に応じて課題を設定し取り組んでいる。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎朝当日の確認を行い、支援内容、役割分担、保護者様への連絡事項を確認している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	67%	33%	短い時間ではあるが、その日の振り返りをし、気になること、連絡事項はオンライン上の情報共有ツールにて毎日共有している。	振り返りの時間をもう少し確保して、内容を充実させたい。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	毎日業務日誌・記録をつけ、支援会議などに活用している。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	半年に1回必ずモニタリングを行い、ニーズや課題設定について見直し、計画を作成している。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	職員内で情報共有後に児童発達支援管理責任者参画している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	介入している支援者・関係機関へは保護者様に確認の上で、必要時、迅速に連携を取らせていただいている。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		対象の方がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		対象の方がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	33%	67%		相談支援専門員の方にお任せしてしまっている傾向があるので、今後はこちらからも情報提供していく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	67%	33%		相談支援専門員の方にお任せしてしまっている傾向があるので、今後はこちらからも情報提供していく。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	今年度は発達支援センターの方との連携を行い、助言や研修をいただいたので非常に学びの多い1年となった。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0%	100%		地域の子ども会の行事に一部場所を提供する等し、少し交流があるが、感染対策上十分な交流を持つのが難しい状況となっている。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0%	100%		なかなか参加する余裕が無く、機会を設けられるように働きかけていきたい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時や、こちらからのお知らせなどのお電話の際などお話をさせていただいている。	働きかけとしてはまだまだ不十分に感じるので、保護者様と職員とは接点を持つように心がけ、ご自宅での利用者様の様子についても確認しながら共有していきたい。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	ご契約時に運営規程含む、重要事項についてはご説明し、利用者負担についてはご説明している。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	67%	33%		多数おられる利用者様全員に満足度高く感じていただけていないかもしれないが、出来るだけ保護者様の悩みをお聞きし、応えていきたいと考えている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		今後、見学会や保護者会などの実施は検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	67%	33%	相談に対しては、迅速に内容を検討し、対応を実施していくようにしている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	67%	33%	公式LINEで毎月の行事予定を、公式インスタグラムにて日々の活動の様子を発信している。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	職員一同が常に気を付け、個人ファイルは鍵のかかる棚での管理、個人情報記載の書類はシュレッダー処理している。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	絵カード・ペクス等のツールを使っている。保護者様へは連絡帳やメールの記載は簡潔に分かりやすく記載している。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	67%	33%		コロナ前は年に2回施設合同のお祭りを開催していたが現在は休止している。町内会でのゴミ拾い等には参加し地域の方とコミュニケーションをとっている。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%		マニュアルは作成しているが、保護者様への周知が足りていないため、今後は発信していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%		年に1回行っており、その様子を記録しているが、その時のご周知が不足している。インスタグラムなどでも発信していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	ご契約前・ご契約時の面談では必ず確認し、服薬に関する変更、主治医からの指示の変更などがある際には必ず伺うようにしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	クッキングなどを実施する際に職員で確認を行い、前日に必ず保護者様に確認を行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットを作成している。見直しの意味もあり、毎月全体ミーティングにて全員で共有している。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	年に1回行っているが、来年度からは年2回の実施にしていこう予定。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	身体拘束を行わない対応をとっており、実施したことは無いが、身体拘束においては職員一同より学びを深めるために、年1回の講習をしている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。